■未来のがん研究者を育むがん克服プロジェクト
がん研究早期体験プログラム「がん研 EEP Early Exposure Program」開催

この度、2022 年 8 月 1 日から 5 日の日程で、 がん進展制御研究所が主体となり、ナノ生命科学研究所の協力を得て、高校生を対象とした「がん研究早期体験プログラム（がん研究 Early Exposure Program)」を開催しました。本事業は、クラウドファンディング「金沢発！未来のがん研究者を育む 「がん克服プロジェクト」(READFOR 株式会社、令和 3 年 7 月 2 日～8 月 29 日）により 156 名の方から寄せられたご寄付、および「和田哲がん基金」をもとに、高校生が将来、がんの克服に貢献する人材へと育つことを応援する人材育成プロジェクトとして実施しました。

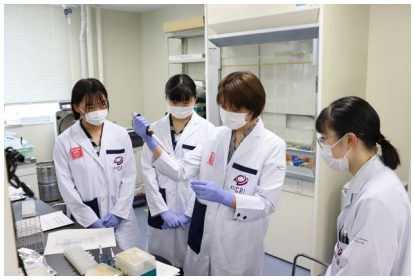
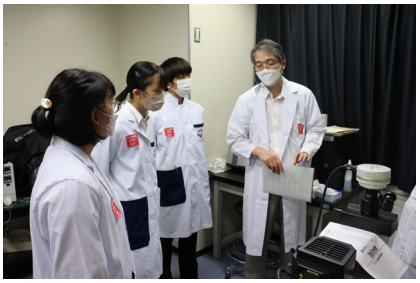
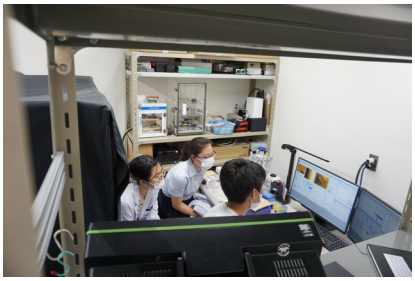
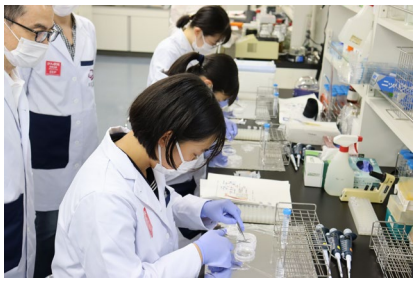
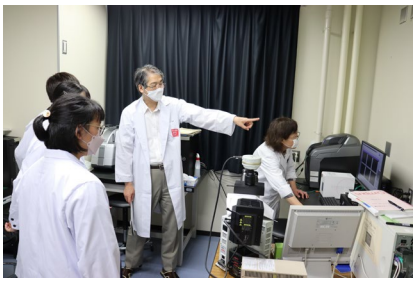
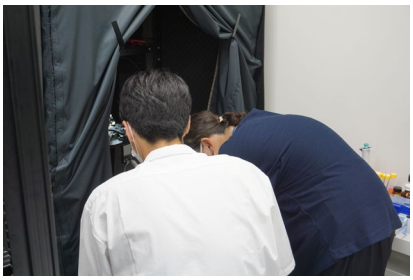
8 月 1 日（月）～4 日（木）にかけては、11 の研究室で研究体験プログラムが行われ、少人数のグループに分かれた高校生たちが研究者さながらの実験に取り組みました。また、8 月 5 日（金）に開催した授業編『生命科学・医学研究の最先端と未来』では、3 名の講師によるセミナーを受講しました。参加者の募集は、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）拠点校である金沢大学附属高校がとりまとめになり、その提携校を中心に参加者を募集していただきました。その他、個別に参加希望のあった高校生も少数受け入れました。結果として　研究体験プログラムには 34 名（金大附属 6 名、金沢泉丘 6 名、七尾 6 名、高岡 2 名、高志 3 名、藤島 5 名、仙台二華 1 名、京都先端科学大学附属 3 名、神戸女学院 1 名、バンコクプレップインターナショナルスクール 1 名)、授業編（8 月 5 日）には、現地参加 32 名（金大附属 12 名、金沢泉丘 7 名、七尾 7 名、藤島 4 名、高岡 1 名、神戸女学院 1 名)、オンライン 22 名と多くの生徒さんに参加いただき、大変盛況なイベントとなりました。

本プログラムに参加した高校生は、いずれも好奇心が旺盛で学習意欲の高い生徒ばかりでした。対応した教員からも「筋のいい質問がたくさんあった」「顕微鏡を見る度におーっと声が上がっていて、本当に反応がよかった」という感想がでるなど、大変充実したものになりました。中には、プログラムを終えて「進路希望を金沢大学に変更したい」という生徒の声も聞こえた（？）という事例もあったようで、高校生にとって、刺激的な体験になったのだろうとうれしく思いました。 授業編においては、3 名の講師の先生に「臨床医学の立場からのがん転移と薬剤耐性」「生物物理学的手法を用いた生命現象の理解」、「情報科学をベースとした新しい創薬技術」という異なる視点から、「生命科学・医学研究の未来」を熱く語っていただきました。高校生からも素朴な質問や鋭い指摘が数多く寄せられ、本セミナーが、彼らの進路を決定する上でのヒントや動機付けの一助になるのではないか、と感じ入りました。本プログラムを実施した 5 日間、研究所内であふれる高校生の姿に明るい未来を感じました。たとえわずかな時間であっても、「高校生とプロの研究者のやりとり」が、将来社会を変える原動力になるのではないかと感じさせられるほど、充実したプログラムとなったと思います。

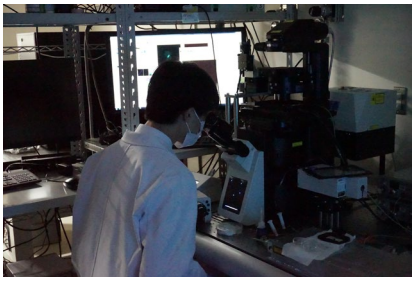
今回、数多くの素晴らしい協力者に恵まれました。ご寄付をいただいた方、高校の先生方、保護者の方、研究所の教職員等、ご協力いただいたすべての方々に心よりお礼を申し上げます。

（がん研 EEP 実行委員長　平尾敦）

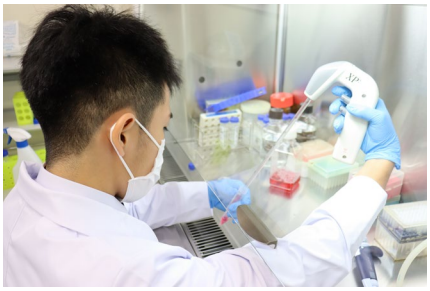
８月１日

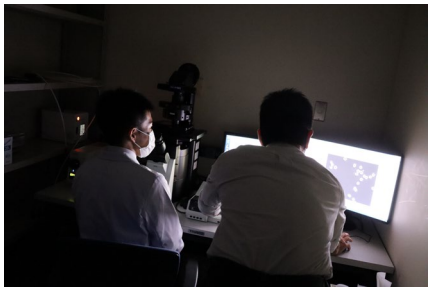
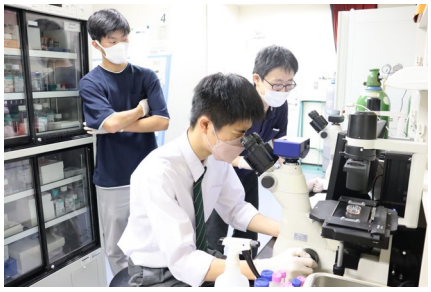







８月２日

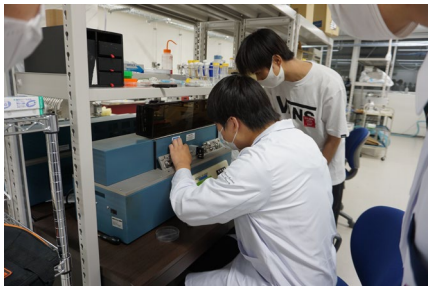


８月３日



８月４日



８月５日

がん研EEP セミナー 2022
「生命科学・医学研究の最先端と未来」

がん研EEP セミナー 2022
「生命科学・医学研究の最先端と未来」